

## (2) 対象患者

\* 2011. 1. 1～2011. 12. 31 受診患者を対象として、受診日から過去2年間遡れる症例を原則としたが、そのような症例がない場合には2年間遡れなくても構わないとした。

## (3) 参加病院

下記4病院が参加、67症例。上肢下肢別では、上肢が38症例  
がん種別では乳がん31症例、子宮体がん8症例、子宮頸ガン7症例、卵巣がん3症例であった。  
全組織ともに実名公開希望であった。

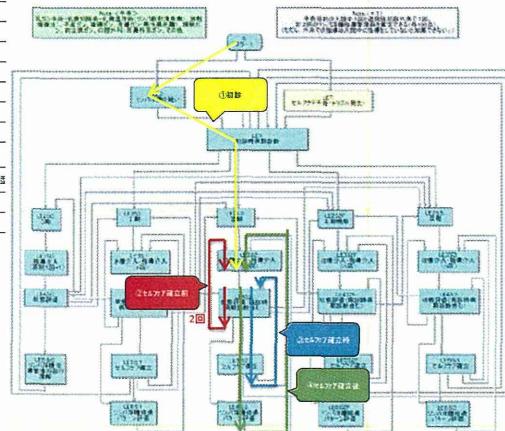
病院別がん種／術式内訳

施設名	n 数	上肢		下肢			
		乳がん		子宮体がん	子宮頸がん	卵巣がん	
		切除術	温存術	広汎子宮全摘術		骨盤内蔵全摘術	
ナグモクリ ニック福岡	48	15	5	12	8	7	1
国立病院機 構函館病院	13	10	3				
西宮市立中 央病院	5	4	1				
健康保険人 吉総合病院	1				1		
合 計	67	29	9	12	9		8
		38		29			

#### (4) 通過ルート症例

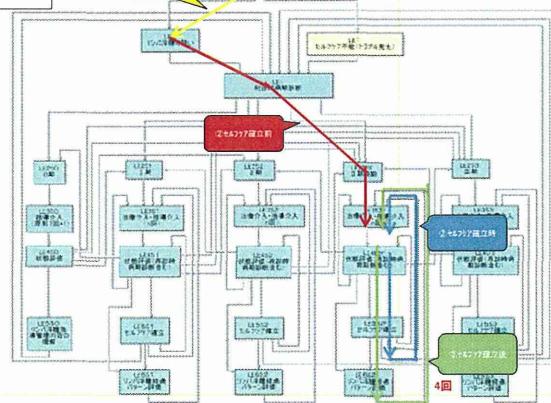
##### ①乳がんII期（ナグモクリニック福岡No.3）

がん種	乳がん	対象部位	右
回診病院	ナグモクリニック	整理番号	3
生年月	1942/7/6	性別	女
手術病院	社会保険仲原病院	がんステージ( T 分類)	T2
入院日	"	( N 分類)	N2a
退院日	"	( M 分類)	M0
入院時BMI	23.3	がん手術の術式	乳房部分切除術
Unit時の年齢	66	①手術日	1998/1/1
①手術～②発症( I )		② I 発症日	
①手術～②発症( II )	2557	② II 発症日	2005/1/1
①手術～②発症( II 級晚期 )		② II 晩期発症日	
①手術～②発症( III )		② III 発症日	
リンパ浮腫発症の原因分類( * )	感染( 蜂窓難炎、リ	因左( 自由記載)	
②発症～③病理診断までの期間	1515	③病理診断日	2009/2/24
②～③期間が長い場合の理由			
③病理診断～④介入開始までの期間	0	④介入開始日	2009/2/24
介入開始時のBMI	23.3		
セルフケア確立可否	確立	⑤セルフケア確立日	2009/4/28
④介入～⑤セルフケア確立までの外来回数	2	⑥リンパ浮腫経過パターン	自発日
⑤セルフケア確立～至経過パターン評価までの期間	170	リンパ浮腫経過パターンタイプ( 直述)	⑦改善プラトーエ達成
病期移動( I , II , II 級晚期 , III )	II		
病期移動の時期( 術後からの期間 )			



##### ②乳がんIII期（国立函館病院No.7）

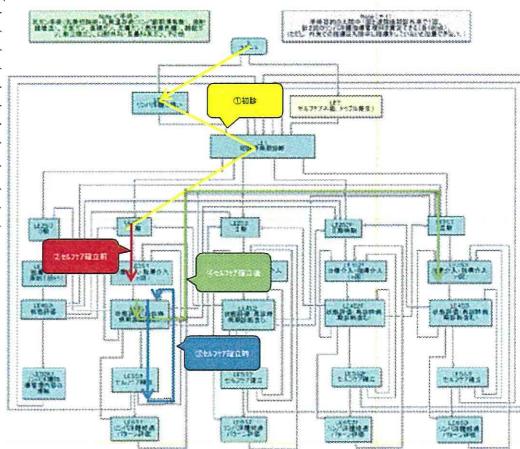
がん種	乳がん	対象部位	右
回診病院	国立函館病院	整理番号	7
生年月	1936/4/13	性別	女
手術病院	北海道大学病院	がんステージ( T 分類)	0
入院日	"	( N 分類)	0
退院日	"	( M 分類)	0
入院時BMI	22.2	がん手術の術式	乳房切削術
Unit時の年齢	74	①手術日	1978/3/1
①手術～②発症( I )		② I 発症日	
①手術～②発症( II )		② II 発症日	
①手術～②発症( II 級晚期 )	11719	② II 晩期発症日	2011/4/1
①手術～②発症( III )		② III 発症日	
リンパ浮腫発症の原因分類( * )	0	因左( 自由記載)	
②発症～③病理診断までの期間	4	③病理診断日	2011/4/5
②～③期間が長い場合の理由			
③病理診断～④介入開始までの期間	0	④介入開始日	2011/4/5
介入開始時のBMI	22.2		
セルフケア確立可否	確立	⑤セルフケア確立日	2011/4/21
④介入～⑤セルフケア確立までの外来回数	2	⑥リンパ浮腫経過パターン	自発日
⑤セルフケア確立～至経過パターン評価までの期間	47	リンパ浮腫経過パターンタイプ( 直述)	⑦不良模様( 不良 )
病期移動( I , II , II 級晚期 , III )	II 晚期		
病期移動の時期( 術後からの期間 )			



### 通過ルート症例（続き）

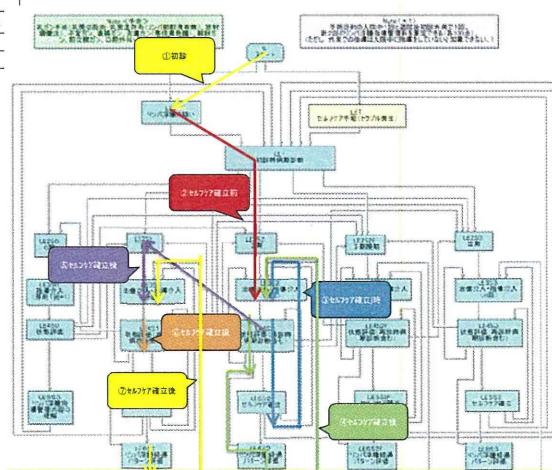
#### ③乳がん I → III期（西宮市立病院No. 2）

がん種	乳がん	対象患者	女性
回収病院	西宮市立中央病院	整理番号	2
生年月	1949/11/3	性別	女
手術病院	西宮市立中央病院	がんステージ( T 分類)	T2
入院日	"	①N分類	N1
退院日	"	②M分類	M0
入院時B MI	35.0	がん手術の形式	乳房切除術
Unit:t時の年齢	62	①手術日	2011/8/30
①手術～②発症( I )	120	②I 発症日	2011/12/28
①手術～②発症( II )		②II 発症日	
①手術～②発症( III 晩期 )		②III 発症日	
①手術～②発症( II )		②III 癌死日	2012/3/2
リンパ浮腫発症の原因分類( * )		放射線治療( 次行に④簡定 )	
②発症～③病理診断までの期間	0	③病理診断日	2011/12/28
②～③期間が長い場合の理由			
③病理診断～④介入開始までの期間	9	④介入開始日	2012/1/6
介入開始時B MI	35.0		
セルフケア確立可否	確立	⑤セルフケア確立日	2012/1/17
④介入～⑤セルフケア確立までの外来回数	5	⑥リンパ浮腫経過パターン評価日	2012/3/2
⑤セルフケア確立～⑥経過パターン評価までの期間	45	リンパ浮腫経過パターンタイプ( 重症 )	⑤悪化
病期移動( I , II , III 晩期、III )	I ⇒ III		
病期移動の時期( 術後からの期間 )	185		



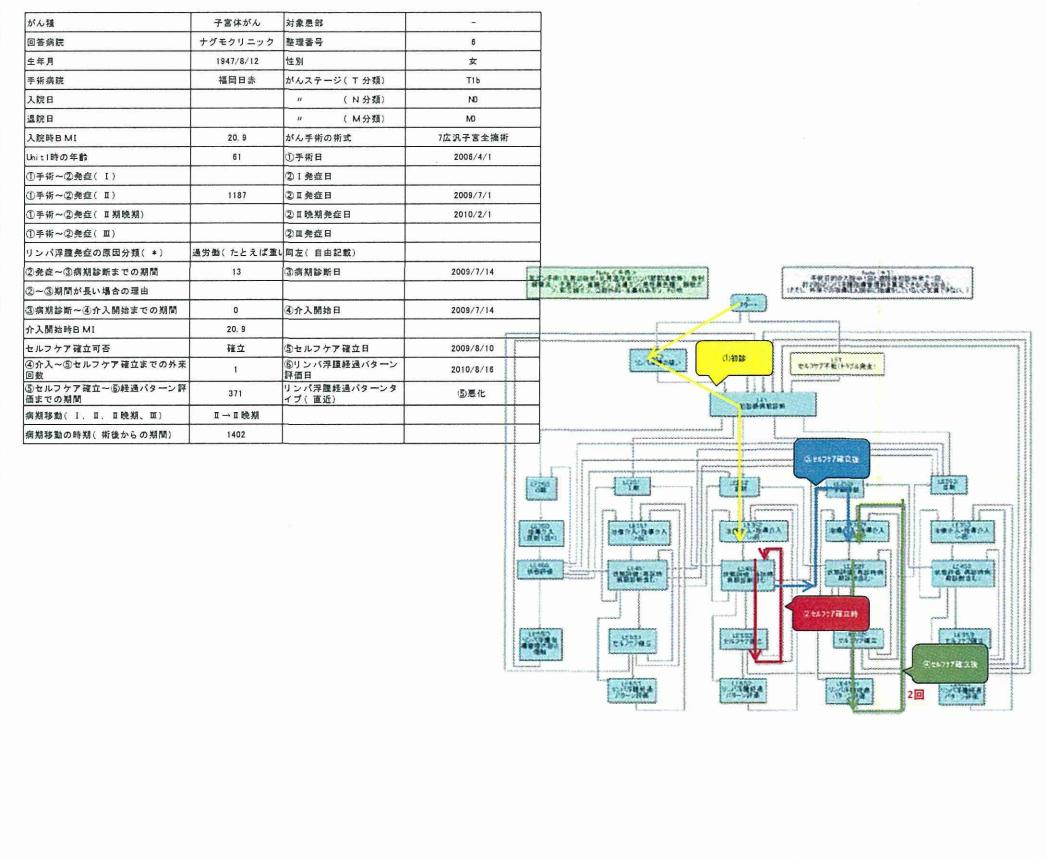
#### ④乳がん II → I期（国立函館病院No. 3）

がん種	乳がん	対象患者	女性
回収病院	国立函館病院	整理番号	3
生年月	1972/1/10	性別	女
手術病院	国立函館病院	がんステージ( T 分類)	T2
入院日	"	①N分類	N0
退院日	"	②M分類	M0
入院時B MI	0.0	がん手術の形式	乳房部分切除術
Unit:t時の年齢	49歳	①手術日	2005/2/24
①手術～②発症( I )	20	②I 発症日	2005/3/16
①手術～②発症( II )		②II 癌死日	
①手術～②発症( III 晩期 )		②III 癌死日	
①手術～②発症( III )		②IV 癌死日	
リンパ浮腫発症の原因分類( * )	0	③(自由記載)	
②発症～③病理診断までの期間	2085	④病理診断日	2010/11/30
②～③期間が長い場合の理由			
③病理診断～④介入開始までの期間	0	⑤介入開始日	2010/11/30
介入開始時B MI	22.7		
セルフケア確立可否	確立	⑥セルフケア確立日	2010/12/21
④介入～⑥セルフケア確立までの外来回数	3	⑦リンパ浮腫経過パターン評価日	2011/6/28
⑤セルフケア確立～⑦経過パターン評価までの期間	189	⑧リンパ浮腫経過パターンタイプ( 重症 )	⑨改善プラード一急型
病期移動( I , II , III 晩期、III )	II ⇒ I		
病期移動の時期( 術後からの期間 )	2357	⑩Ⅲ期⇒Ⅰ期に改善日	2011/8/9



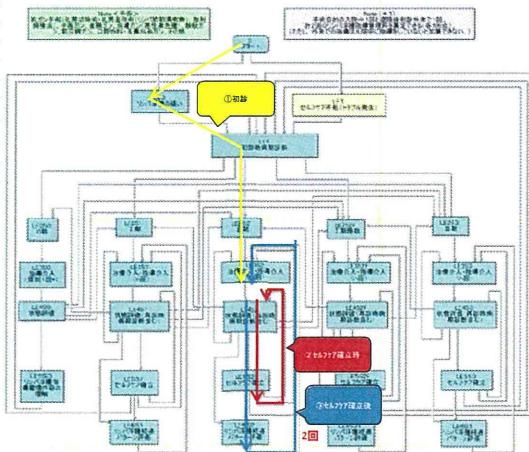
## 通過ルート症例（続き）

### ⑤子宮体がんII→II期晚期(ナグモクリニック福岡No.6)



⑥子宮頸がんII期(ナグモクリニック福岡No.2)

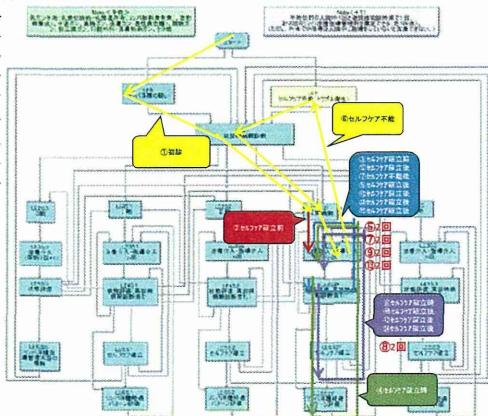
がん種	子宮頸がん	対象部位	-
回診病院	ナグモクリニック	登録番号	2
生年月	1934/6/10	性別	女
手術病院	下関厚生病院	がんステージ( T 分類)	T1a2
入院日	〃	( N 分類)	N0
退院日	〃	( M 分類)	M0
入院時B MI	24.2	がん手術の術式	7広式子宮全摘術
④t1時の年齢	72	①手術日	1991/10/1
①手術～②発症( I )		⑤I 発症日	
①手術～②発症( II )	3745	②Ⅲ 発症日	2002/1/1
①手術～②発症( Ⅲ期換算 )		③Ⅲ発症発症日	
①手術～②発症( Ⅱ )		④Ⅲ 発症日	
リンパ浮腫発症の原因分類( * )	感染( 蜂窓鍼炎、リンバ管炎( 自由記載 )		
②発症～③病理診断までの期間	1711	③病理診断日	2006/9/8
②～③期間が長い場合の理由			
③病理診断～④介入開始までの期間	0	④介入開始日	2006/9/8
介入開始時のMI	24.2		
セルフケア確立可否	確立	⑤セルフケア確立日	2006/10/18
④介入～⑤セルフケア確立までの外来回数	40	⑥リンパ浮腫経過パターン評価日	2007/3/14
⑤セルフケア確立～⑥経過パターン評価までの期間	147	⑦リンパ浮腫経過パターンタイプ( 遠近 )	②改善フラット・継続型
病期移動( I, II, III 暫解、III )	II		
病期移動の時期( 術後からの期間 )			



通過ルート症例 ( 続き )

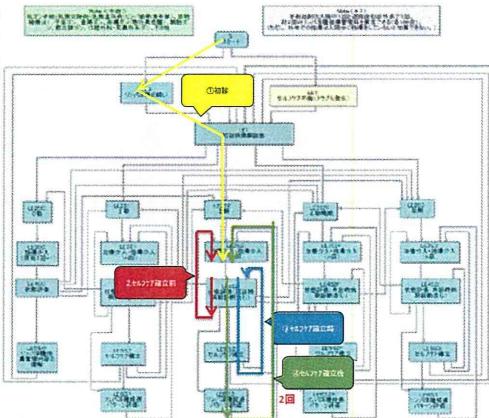
## ⑦子宮頸がんII期晚期(健康保険人吉総合病院No.2)

がん種	子宮頸がん	対象部位	-
回診病院	健康保険人吉総合病院登録番号	1	
生年月	1938/11/1	性別	女
手術病院	熊本市民病院	がんステージ( T 分類)	0
入院日		〃 ( N 分類)	0
退院日		〃 ( M 分類)	0
入院時B MI	0.0	がん手術の術式	0
Uni: I期の年齢	71	①手術日	1979/7/1
①手術～②発症( I)	2192	② I 発症日	1985/7/1
①手術～②発症( II)		③ II 発症日	
①手術～②発症( II)既往歴		④ III 発症日	2010/8/4
①手術～②発症( III)		⑤ IV 発症日	
リンパ浮腫発症の原因分類( +)	感染( 蛇窩球炎、リコ同意( 自由記載))		
⑥発症～⑦病期診断までの期間	9155	⑧病期診断日	2010/8/4
⑧～⑨期間が長い場合の理由			
⑨病期診断～⑩介入開始までの期間	0	⑪介入開始日	2010/8/4
介入開始時B MI	0.0		
セルフケア確立可否	確立	⑫セルフケア確立日	2010/9/9
⑭介入～⑮セルフケア確立までの外来回数	38	⑯リンパ浮腫経過パターン回数	2010/9/9
⑮セルフケア確立～⑯経過パターン評価までの期間	0	⑰リンパ浮腫経過パターンタイプ( 直達)	⑪改善プロト－急峻型
病期移動( I, II, III)	I ⇒ II 晚期		
病期移動の時期( 術後からの期間)	11357		



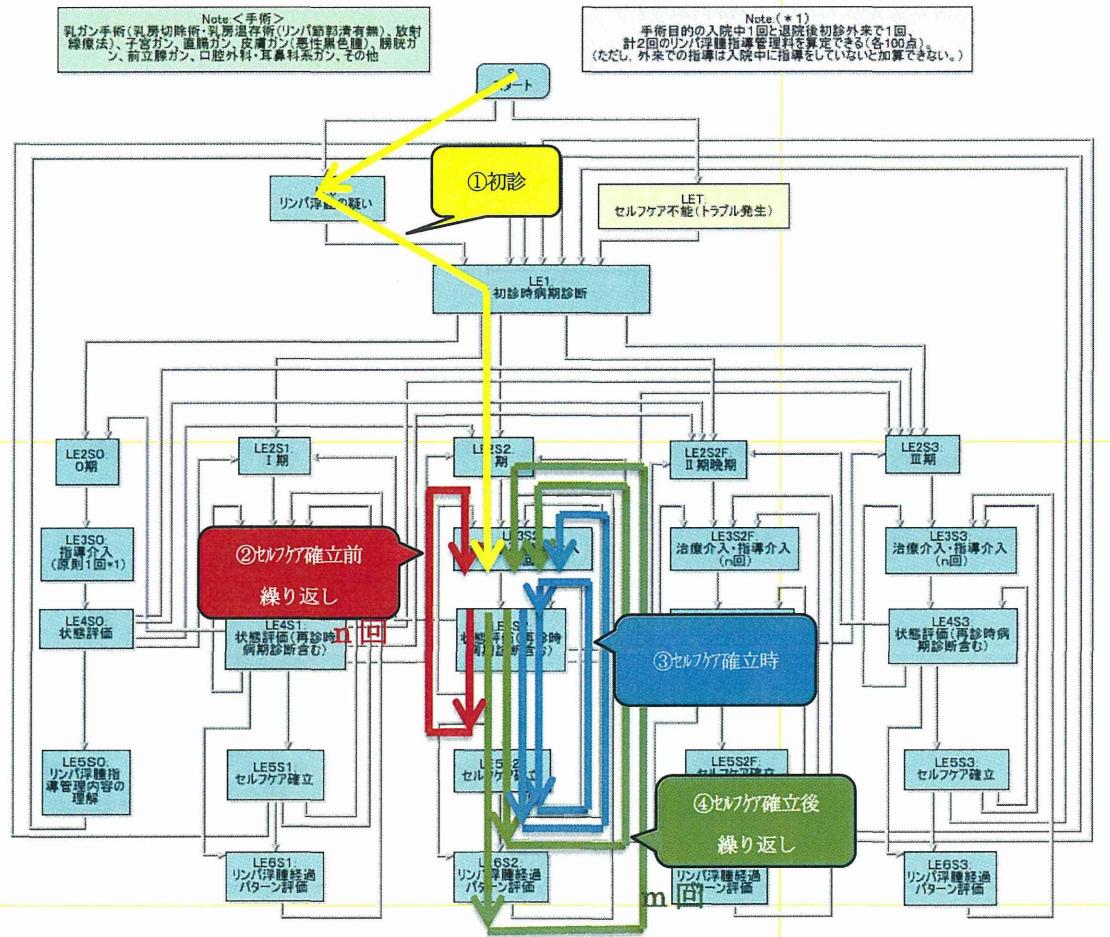
## ⑧卵巣がんⅡ期(ナグモクリニック福岡No.1)

がん種	卵巢がん	対象患部	-
回収病院	ナグモクリニック	整理番号	1
生年月	1952/7/7	性別	女
手術病院	広島日赤	がんステージ( T 分類)	T2b
入院日	"	( N 分類)	N0
退院日	"	( M 分類)	M0
入院時B MI	25.3	がん手術の術式	B骨盤内腫全摘術
Unit1時の年齢	55	①手術日	1990/9/1
①手術～②発症( I )		② I 発症日	
①手術～②発症( II )	3500	② II 発症日	2000/4/1
①手術～②発症( II 晩期 )		② II 晩期発症日	
①手術～②発症( III )		② III 発症日	
リンパ浮腫発症の原因分類( * )	感染( 蜂窓隕炎、リノンガ( 自由記載) )		
②発症～③病期診断までの期間	2708	③病期診断日	2007/8/29
②～③期間が長い場合の理由	病院がなかった		
③病期診断～④介入開始までの期間	0	④介入開始日	2007/8/29
介入開始時B MI	25.3		
セルフケア確立可否	確立	⑤セルフケア確立日	2007/10/31
④介入～⑤セルフケア確立までの外来回数	83	⑥リンパ浮腫経過パターン評価日	2008/3/26
⑤セルフケア確立～⑥経過パターン評価までの期間	147	⑦リンパ浮腫経過パターンタイプ( 過去 )	②改善プロトコル検査
病期移動( I , II , II 晩期 , III )	II		
病期移動の時期( 術後からの期間 )			



## (5)カバー率

- 1) ルート外れはなく、カバー率は100%であった。
- 2)回答受領時には①状態評価なくセルフケア確立している、②状態評価だけで治療介入・指導介入が無い、③セルフケア後の治療介入・指導介入が無い、など様々なヌケが発生したが、再確認してヌケを埋めた結果、カバー外れはなかった。リンパ浮腫 CPC のそれぞれのユニットの共通認識が国内の病院で統一できていない現状を再認識した。
- 3) セルフケア不能になった症例は1件あり：健康保険人吉総合病院子宮頸ガンNo.1は2010/8/4 治療開始、2010/9/9 セルフケア確立。その後 2010/12/2 セルフケア不能となったが、2011/3/10 再度セルフケア確立している。
- 4)標準的な通過ルートを下記に示す。
  - ①初診時
  - ②セルフケア確立前繰り返し
  - ③セルフケア確立時
  - ④セルフケア確立後繰り返し



### 3.まとめ

今年度の調査で、PCAPS リンパ浮腫コンテンツを用いた実態調査・臨床分析の可能性が確認できた。

## 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍：

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
飯塚悦功, 水流聰子, 棟近雅彦	医療の質安全保証 に向けた臨床知識 の構造化 (3) 患者 状態適応型パス [臨床知識の活用・ 分析]	PCAPS研究会	医療の質安全 保証に向けた 臨床知識の構 造化 (3) 患者 状態適応型パ ス [臨床知 識の活用・分 析]	日本規格協 会	東京	2012	249

雑誌：

著者名	論文タイトル名	雑誌名	巻号	ページ	発行 年
Yoshinori Iizuka, Masahiko Munehika, Satoko Tsuru	Concept of the Socio-technology for Healthcare	Proc. Of the 55th Europian Organizatio n for Quality Congress	55(201 )	scientific paper CD-ROM PP1-8	2011
Satoko Tsuru, Yoshinori Iizuka , Masahiko Munehika	Structured Clinical Knowledge and its Application as a Socio-technology – PCAPS	Proc. Of the 55th Europian Organizatio n for Quality Congress	55(201 )	scientific paper CD-ROM PP1-8	2011
Masahiko Munehika, Satoko Tsuru, Yoshinori Iizuka	Scheme for Healthcare QMS and its Implementation as a Socio-technology – QMS-H Model	Proc. Of the 55th Europian Organizatio n for Quality Congress	55(201 )	scientific paper CD-ROM PP1-8	2011

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）  
分担研究報告書

診療ガイドラインデータベースの構築に関する研究

研究分担者	山口直人	東京女子医科大学
研究協力者	吉田雅博	国際医療福祉大学
研究協力者	佐藤康仁	東京女子医科大学
研究協力者	清原康介	東京女子医科大学

研究要旨：診療ガイドラインおよび関連する医療情報を EBM データベースとして整備し、医療従事者および患者・家族を含めた国民の双方にインターネット上で情報提供する EBM 医療情報サービス（以下、Minds）において、サイト利用者が必要とするがん情報を的確に提供するための具体的方法を検討した。本年度は、初めに、がん診療ガイドラインを対象に、ガイドラインのクリニカルクエスチョン（CQ）と推奨文をデータベース化する統一フォーマット（CQ サマリー）を作成した。続いて、各 CQ サマリーを対象としてガイドラインコンテンツを検索する CQ Finder を開発し、Minds システムに実装した。

#### A. 研究目的

公益財団法人日本医療機能評価機構は、診療ガイドラインおよび関連する医療情報を EBM データベースとして整備し、医療従事者および患者・家族を含めた国民の双方にインターネット上で情報提供する EBM 医療情報サービス（以下、Minds [<http://minds.jcqhc.or.jp/>]）を実施している。Minds では現在計 85 疾患・テーマについて情報提供を実施しており、そのうちがんに関する情報は、一般向け 16 疾患・テーマ、医療提供者向け 28 疾患・テーマを扱っている。Minds 事業は平成 23 年度より厚生労働省の委託事業となり、新たなスタートを切った。これを契機に、コンテンツ掲載の流れを見直し、さらにこれに対応する新システムの構築および一般公開を実施した。

Minds データベースには約 5 万ページに及ぶコンテンツが登録されているが、多くのコンテンツの中から、目的とするコンテンツを的確に検索する方法が求められている。そこで、本研究では、医療提供者向けガイドラインの本文から情報検索をする際に、目的とするコンテンツをより的確に探

し出すことができるようにするため、診療ガイドラインのクリニカルクエスチョン（CQ）と推奨文を検索対象とする方法を開発し、Minds に実装した。

#### B. 研究方法

##### ・CQ サマリーの開発

診療ガイドラインのコンテンツを効率的に検索するためには、まず、コンテンツを統一のフォーマットを用いてデータベース化する必要がある。多くの診療ガイドラインの構造は『CQ+推奨文+推奨度+解説』となっているため、今回推奨度を 1 つの単位として統一フォーマットにまとめることにした。

効率的な検索のために、診療ガイドラインから CQ、推奨文、推奨度、Minds 上の URL を抜き出し、さらに CQ の Patients (P)、Intervention (I)、Comparison (C)、Outcome (O) にあたるものを探索用キーワードとして抽出し、フォーマットに落とし込むことにした。このフォーマットを『CQ サマリー』と名付けた。

CQ サマリーが作成可能な診療ガイドラインは、①CQ 形式になっているもの、②

推奨文に推奨度が付与してあるもの、③ Minds に html 形式で掲載されているもの、である。

今回、Minds で掲載しているがんに関する医療提供者向け診療ガイドラインのうち、胆道癌（2007）、肺癌（2009）、子宮体癌（2009）、肝癌（2009）、膀胱癌（2009）、口腔癌（2009）、大腸癌（2010）の 7 つについて CQ サマリーを作成した。

#### ・CQ Finder の開発

CQ サマリーを検索するための検索システム、『CQFinder』を開発した。ここでは、疾患名や CQ の目的（予防・診断・治療）をプルダウン形式で選択できるようにし、その他にもフリーキーワードによる検索や推奨度のチェックボックスによる絞込みや PICO のプルダウン形式の検索ができるようにした。

#### ・CQ Finder の実装

CQ サマリーおよび CQ Finder の開発の後、CQ サマリーおよび CQ Finder を Minds サイトに実装した。

#### ・倫理面への配慮

特に無し。

### C. 研究結果

#### ・CQ サマリーの開発

今回対象とした 7 つの診療ガイドラインより、合計で 323 の CQ サマリーを作成した。いくつかの CQ サマリーについては、CQ や推奨文または解説文中に十分な記述が見当たらなかったために、PICO のうち 1 つもしくは複数の項目の抽出ができなかつたものがあった。

#### ・CQ Finder の開発

CQ サマリーを検索対象とするシステムである CQFinder を開発した。CQFinder による CQ サマリーの検索については下記に示すとおりである。

#### ・CQ Finder の実装

Minds に実装した CQ Finder へは、以下

の手順でたどり着くことができる。図 1 は Minds トップページである。新 Minds では、コンテンツは、一般向けコンテンツと医療提供者向けコンテンツに大きく分かれている。FQ Finder は医療提供者向けガイドライン検索のために開発されているため、はじめに医療提供者向けタブをクリックする必要がある。医療提供者向けタブをクリックすると図 2 の画面が表示される。画面左上にある「病気・テーマ別に調べる」、「各種条件を指定して調べる」、「CQ Finder で調べる」が医療提供者向けコンテンツを検索する方法である。医療提供者向けページの初期画面では、「病気・テーマ別に調べる」が表示される。上から 3 番目の「CQ Finder で調べる」をクリックすることで CQ Finder を呼び出すことができる（図 3）。検索後画面を図 4 に示す。検索結果は下段に 2 件示されている。さらにこのリストをクリックすることで、クリニックエスチョン、推奨文、推奨度、PICO 等が表示される。また出典が表示されているが、このリンクより Minds 内のガイドライン該当ページを参照することが可能になっている。

### D. 考察

#### ・CQ サマリーの開発

今回開発した CQ サマリーにより、まったく異なった構成の診療ガイドラインを統一のフォーマットでデータベース化することができた。しかし、今回の CQ サマリーの手法では、CQ 形式でない診療ガイドラインに対応できず、Minds で掲載している全ての診療ガイドラインを検索対象にすることができないという問題がある。また、今回 CQ の PICO にあたるものを探して抽出したが、CQ サマリーの数が増えてくるとプルダウンで出てくる選択肢の数が多くなりすぎ、効率的な検索ができないくなる可能性がある。今後、抽出したキーワードの統合方法やシソーラス化について検討する必要がある。また、ガイドライン中の記述から PICO にあたるキーワードの抽出が困難である場合があり、キーワードの妥当性の確認の必要性も含めて、診療ガイドライン作成グループへの協力関係が

重要であると考えられた。

#### ・CQ Finder の開発

CQFinder による CQ サマリーの検索により、すばやく目的の診療ガイドラインのコンテンツにたどり着くことが可能になった。今回開発した CQFinder では、可能な限りキーワード入力による検索作業の手間を省くため、プルダウン形式やチェックボックス形式に伴う自動絞込み機能を搭載している。これにより、より効率的なコンテンツ検索を可能にしている。一方で、PC の処理能力によっては動作が非常に遅くなるなど、インターフェース面での改善点が残っている。

#### ・CQ Finder の実装

CQ Finder の Minds への実装により、Minds サイト内の検索システムをより充実させることができた。現 Minds における検索でコンテンツ内容を直接検索できるのは、ページ上部に表示される疾患内検索と CQ Finder の 2 つである。疾患内検索は、全文検索であるため、検索結果数が多くなる傾向がある。CQ Finder では、PICO での絞込みを行なうため、コンテンツはより絞込まれることになる。一方で、ガイドライン自体の CQ の作り方によっては、検索されにくくなることが考えられる。今後は CQ Finder の利用状況の把握やシソーラスの導入等、より使いやすくする方法を検討する必要がある。

## E. 結論

Minds に掲載されている診療ガイドラインの検索性を向上させるため、クリニカルクエスチョンをデータベース化することで、クリニカルクエスチョンの検索が可能になる CQ Finder を開発し、Minds サイトに実装した。CQ Finder は、Minds における複数の検索方法の 1 つとして機能している。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

無し

### 2. 学会発表

Kiyohara K, Okumura A, Takahashi N, Sato Y, Kojimahara N, Yoshida M, Yamaguchi N: A Systematic Method for Summarizing Clinical Practice Guidelines Guidelines International Network Conference 2011. Aug. 2011

## H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

### 1. 特許取得

無し

### 2. 実用新案登録

無し

### 3. その他

無し

図 1 Minds トップページ

The screenshot shows the homepage of the Minds medical information service. At the top, there is a navigation bar with links for '一般の方' (General Public), '医療提供者の方' (Healthcare Providers), '掲載情報' (Published Information), '会員の方' (Member), and 'English'. The main content area features a large image of hands holding a green plant. Text on the left says: 'マインズでは、一般の方から医療提供者の方が利用できるさまざまな医療関連情報をご提供しております。' Below this is the logo of the Japan Medical Function Evaluation Organization. There are two main sections: '一般の方' (left) and '医療提供者の方' (right), each with a list of search methods.

一般の方	医療提供者の方
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気・テーマ別に調べる</li> <li>▷ 病気・テーマ別に調べる</li> <li>▷ 医学用語を調べる</li> <li>● 投稿する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気・テーマ別に調べる</li> <li>▷ 病気・テーマ別に調べる</li> <li>▷ 各種条件を指定して調べる</li> <li>▷ CQ Finder で調べる</li> <li>● 投稿する</li> </ul>

図 2 3つの検索方法

This screenshot shows the search interface for '病気・テーマ別に調べる' (Search by Disease/Theme). It includes a sidebar with links for '病気について調べる', '掲載情報について知る', '投稿する', and '会員募集のご案内'. The main area has tabs for '検索条件' (Search Conditions) and 'STEP 1 カテゴリーを選択します' (Step 1: Select Category). A dropdown menu for '疾患・テーマ' (Disease/Theme) lists various categories like 'がん', 'アレルギーと膠原病', '皮膚・目・耳・鼻・のど', etc. To the right, there is a 'STEP 2 疾患を選択します' (Step 2: Select Disease) section and a 'STEP 3' section for specifying additional search conditions. A 'キーワード' (Keyword) search bar is also present.

図3 CQ Finder トップページ

CQ Finder 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)により作成・公開中

Search | 疾患名:  予防・診断・治療:  キーワード:  検索する 全てクリアする

検索項目を選択/記入し、「検索する」ボタンを押してください。

図4 CQ Finder 検索後画面

CQ Finder 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)により作成・公開中

Search | 疾患名:  予防・診断・治療:  キーワード:  検索する 全てクリアする

<さらに絞り込み>

推薦度:  A  B  C  C1  C2  D  
GRADE:  Do it.  Probably do it.  Probably don't do it.  Don't do it.

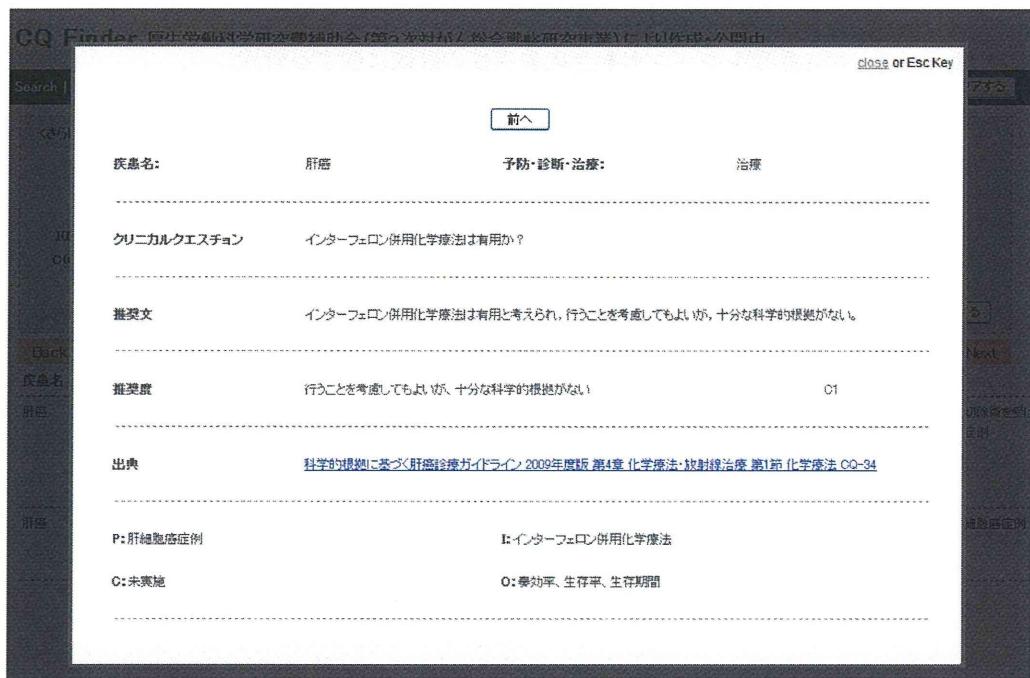
P(Patients):患者の特性	<input type="text" value="全て"/>	and	<input type="text" value="全て"/>
I(Interventions):診断・治療・予防の詳細	<input type="text" value="全て"/>	and	<input type="text" value="全て"/>
C(Comparisons):比較対照	<input type="text" value="全て"/>	and	<input type="text" value="全て"/>
O(Outcomes):効果の指標	<input type="text" value="全て"/>	and	<input type="text" value="全て"/>

絞り込む 絞り込みをクリアする

Back 検索結果 2件中1~2件を表示 Next

疾患名	クリニカルクエスチョン	推奨文	推薦度	GRADE	予防・診断・治療	P
肝癌	術後補助療法は肝切除後の予後を改善する。術後のインターフェロン療法は再発抑制や生存率の向上のために寄与する可能性があり、そのほかにも有効と報告されている補助療法がある。しかし、推奨するまでには至っていない。		C1		治療	肝切除術を受けた症例
肝癌	インターフェロン併用化学療法は有用か? リンパ節転移陽性の肝細胞癌に対するインターフェロン併用化学療法は有用と考えられる。行うことを考慮してもよいが、十分な科学的根拠がない。		C1		治療	肝細胞癌症例

図5 クリニカルクエスチョンの表示



厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）  
分担研究報告書

がん治療レジメンの科学的妥当性の評価に関する研究

研究分担者 加藤 裕久 昭和大学 薬学部薬物療法学講座 医薬情報解析学部門 教授

研究要旨：

本研究は、抗がん薬だけでなく支持療法薬を含めたレジメンの標準化を図ることを目的とする。平成23年度は、わが国で使用されている代表的な5がん腫19レジメンを解析した結果、同一名称で内容の異なるレジメンが複数の施設で登録されていた。登録されていたレジメンは、TC療法であった。平成23年11月にがん診療連携拠点病院等に注意喚起の連絡を実施した。

A. 研究目的

本研究は、レジメンのわが国の標準化を図り、そのモデル案を全国のがん診療施設に提示することにより、安心かつ安全な抗がん剤治療をがん患者へ提供することを目的とする。

B. 研究方法

抗がん薬レジメンの管理状況と5がん腫19レジメンについて、国立がん研究センター、都道府県がん連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院にアンケート調査を実施し、解析した。

（倫理面への配慮）

本研究では、患者個人情報は取り扱わない。

C. 研究結果

「同一名称のレジメンは登録されていない」施設は248施設中181施設(76%)であったが、「同一名称のレジメンが登録されている」施設は58施設(24%)にのぼった。その内訳は「TC療法」が8施設、「FOLFILIS±BV療法」、「FOLFOX±BV療法」、「GEM療法」、「PTX療法」、「TS-1+CDDP療法」が各3施設、「IP療法」が2施設、「DTX療法」、「CHOP療法」、「CP療法」、「FE療法」、「IS療法」が各1施設であった。そして「その他・未記載」が28施設であった。特にTC療法では、「パクリタキセルとカルボプラチニ」あるいは「ドセタキセルとシクロホスファミド」などのように抗がん剤の組み合わせが違うレジメンが確認された。

D. 考察

「同一名称のレジメンが登録されている」理由として、次のことが考察された。

- ・レジメンシステム導入時に各科申請書をそのまま登録してしまい、全体の統一・調整が不十分だったため。
- ・各科から依頼のあった新規のレジメンをすべて電子カルテに登録してしまったため。
- ・数年前に登録されたレジメンが現在も整理されていないため。
- ・診療科別に登録されているレジメン及び同一診療科内でも入院・外来別で登録されているため。
- ・支持療法などの統一が未整理のため。
- ・抗がん薬の用量は同じであるが、それ以外の処方（補液や注入時間等）が異なるため。

E. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 加藤裕久。診療・治療ガイドライン活用指南 制吐薬。薬事 53:123-130,2011

F. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

書籍

研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
河村 進	厚生労働科学研究 費補助金によるリ ンパ浮腫保存的治 療クリニカルパス 作成	加藤逸夫	リンパ浮腫診 療実践ガイド	医学書院	東京	2011	79-87

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
飯塚 悅功	入院診療の質・安全保 障に必要な医療リソー ス配分を決定するため の「患者—病床関係」適 切性判断モデルの構築	品質	41 (1)	107-120	2011
飯塚 悅功	病院業務プロセス記述 モデルの開発	品質	41 (2)	69-80	2011
飯塚 悅功	避妊・性感染症予防力 ウンセラー育成プログ ラムの評価(その1) —プログラム受講者と 自己学習者における知 識の獲得状況の比較—	日本母性看護 学会誌	11 (1)	27-33	2011
飯塚 悅功	避妊・性感染症予防力 ウンセラー育成プログ ラムの評価(その2) —ロールプレイを用いた カウンセリング技能獲 得の評価—	日本母性看護 学会誌	11 (1)	35-42	2011
飯塚 悅功	Concept of Socio-tec hnology for Healthca re	Proc. 55EOQ	CD-ROM		2011
飯塚 悅功	Structured Clinical Knowledge and its Ap plication as a Socio -technology - PCAPS	Proc. 55EOQ	CD-ROM		2011

飯塚 悅功	Scheme for Health Care QMS and its Implementation as a Socio-technology - QMS-H Model	Proc. 55EOQ	CD-ROM		2011
飯塚 悅功	A Model for Personnel Allocation at Hospitals	Proc. 55EOQ	CD-ROM		2011
飯塚 悅功	Methodology for the Establishment of "Standards" as Socio-technology	Proc. 55EOQ	CD-ROM		2011
飯塚 悅功	質保証のための病院業務における要員配置モデル	品質	41 (3)	371-381	2011
飯塚 悅功	医療マネジメントの知識基盤	Vita	28(4)	43-46	2011
小山 博史	Public health information and statistics dissemination efforts for Indonesia on the Internet	Online Journal of Public Health Informatics	Vol 3, No 2.		2011
小山 博史	he use of 3D computer graphics in the diagnosis and treatment of spinal vascular malformations	J Neurosurgery Spine	Sep 9.		2011
小山 博史	Impact of multiorgan fusion imaging and interactive three-dimensional visualization for intraventricular neuroendoscopic surgery	Neurosurgery	Feb 16		2011
小山 博史	初期臨床研究医の鑑別診断に関する教育支援を濃く企図したWebベースエキスパートシステムの評価	医療情報学	30 (6)	321-325	2011
小山 博史	乳がん検診施設の相互利用化の影響に関する検討	医療情報学	30 (6)	303-311	2011

小山 博史	3次元融合画像とシミュレーション	脳神経外科ジ ヤーナル	20	238-246	2011
河村進	がん治療後のリンパ浮腫	Astellas Square	39(7)	12-13	2011

